

稲敷市立あずま南小学校 学校長：池田 茂功

【実施日時】	平成20年12月9日(火)午後12時00分～午後4時00分
【参加者と人数】	5・6年生28名
【コーディネーター】	小林 郁子
【講師】	タバッシュクー・ベヘルズ(イラン) 西村 ルミアナ(ブルガリア)
【活動内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・交流給食会 講師の方を1・2年生の教室に招いて給食を食べながら交流。 ・講師の方々ふれあう会 3・4年生への母国の紹介(昼休みの時間を活用) ・交流集会 2人の講師の方より,それぞれの母国についての自己紹介。 児童による質問コーナー(総合的な学習の時間に学習してきたことをふまえ) 日本の食文化紹介(和菓子について,調理の方法などを児童が紹介)
【参加者の感想】	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちが総合的な学習の時間で調べてきたことをもとに,講師の方々の国についての印象を話しました。緊張しましたが,私の話を真剣に聞いてくださいました。調べてきたことと,現在は少し違うところがあることを講師から教えていただき,直接話合うのは大切なことだと感じました。・講師の方々の母国の調度品や写真を見せていただきました。私たちがまだ行ったことも無い異国の文化に触れ,新鮮な驚きと感動を覚えました。とっても楽しい時間でした。 ・遠い国の話なのに,とっても親しみを感じました。日本語と同じ意味で使われる,発音も似たような言葉があることに驚きました。 ・日本の食文化を知っていただくために,和菓子のことをいろいろな事を調べました。なんとなくわかっているつもりだった日本の和菓子のよさをあらためて知る機会になりました。家でも母と一緒に,みたらし団子を作って家族で食べながら国際交流集会の話をしました。・日本の和菓子の作り方について上手に紹介できるか心配でしたが,それ以上に講師の方々がおいしく食べてくれるが心配でした。日本語で,「おいしい。」と言ってくれたときは,とてもうれしかったです。 ・映画や本でしか見たことの無い,イランの本物のカーペットを見せていただいたときはとても感動しました。日本の工芸品とは違う,伝統を感じました。
【担当者の感想】	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な時間の学習を活用しながら,意欲的に取り組んできたので,交流会当日は児童も自信をもって生き生きと活動することができた。長年実施しており,継続することが児童のコミュニケーション能力の向上にもつながっていると感じた。 ・ふれあい活動をとおして,子どもたちはとても感動したようである。外国の文化を知ることや外国の人に母国の文化を知っていただくことの大切さやすばらしさを感じたようである。

